

第 66 回 通常 総会 議事 録

東京都新宿区津久戸町 4 番 6 号
公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

日 時：令和 7 年 5 月 23 日（金） 15:30～17:15
場 所：東京都千代田区九段北 4-2-25 アルカディア市ヶ谷（私学会館）

1. 開 会

奥谷専務理事が開会を宣言し、出席正会員は委任状とも 1,276 名で、定款第 17 条に規定する、正会員総数 2,406 名の過半数の出席を得ているので、本総会は成立する旨の報告があった。

2. 出席役員

会長：下村 匠、副会長：中村 光、左東有次、常務理事：岸本一藏、
専務理事：奥谷祐介、
理事：井上 晋、加古聡一郎、勝木 太、忽那幸浩、九富 理、齊藤成彦、
山東徹生、二井谷教治、西山峰広、細谷 学、渡辺博志の各理事
監事：大村一馬、中野元裕、花島 崇

3. 下村会長挨拶（要旨）

第 66 回通常総会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の石川県能登地方における地震と豪雨災害により、亡くなられた方々に心から哀悼の意を表するとともに、ご遺族と被災された方々にお見舞いを申し上げる。被災地の復旧と復興が一日も早く進むことを願っている。本工学会としても、自然災害の脅威から国民の生命や財産を守り、安心・安全な社会の実現に向けて、より一層の努力をしていく所存である。

本工学会は、前身のプレストレストコンクリート技術協会が 1958 年に発足して以来、わが国のプレストレストコンクリートおよびコンクリート構造に関する学術の発展と技術の進歩ならびに会員の資質の向上と国際的な情報交流を図り、社会の安全と発展に貢献することを目的に活動してきた。1960 年に社団法人となり、2012 年に公益社団法人に移行した。

近年の社会は、少子高齢化、人口減少が進む一方で、インフラ構造物の老朽化や頻

発する大規模自然災害に対して、安全で安心なインフラの整備、維持管理、更新の必要性が高まっている。プレストレストコンクリートの技術は、これらに答え、持続可能な社会の実現に貢献できるものと確信している。

本工学会は、プレストレストコンクリートに関する技術規準の整備・発刊、会誌「プレストレストコンクリート」の年6回の発行、「プレストレストコンクリート技術講習会」および「プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」の開催、ならびに技術者資格認定事業を主な活動としている。これらの活動が、年々発展し充実してきたことは、会員各位の皆さま、関係各位のご支援とご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

本工学会の国際活動としては、国際学会である *fib* に日本コンクリート工学会とともに日本を代表して参画している。4年に1度開催される *fib* コングレスが、2030年に我が国の京都で開催されることが決定し、それに向け昨年度より、日本コンクリート工学会と共同の準備委員会を組織し、準備活動を進めている。

公益社団法人となって本年で14年目を迎える本工学会が抱える課題の一つとして、組織の安定的な運営と持続的な発展を可能とするシステムの構築がある。これに向けた対策の一環として、若手の技術者や学生にとって参加意欲が持てる魅力ある工学会にして行かなければならないということで、本工学会のホームページのリニューアルを行った。また、一昨年度より公募研究委員会制度を改革し、大学や民間を問わず、若い技術者・研究者が学会の委員会活動に気軽に参加し、研鑽に励み、交流ができる機会を提供している。

会員の皆さまにおかれては、今後とも本工学会へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

本日は、令和6年度の事業活動についてご審議を賜り、併せて議事の進行にご協力の程をお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

4. 議長選出

奥谷専務理事から本総会の議長は定款第15条により、会長がこれに当たるとの説明があり、下村会長を議長とした。

5. 議事録署名人の指名

議長発言にて、定款第19条の規定では、議事録署名人は、議長および議長が指名する出席者2名以上としている旨、説明があり、次の両氏が指名された。

中村 光氏 左東有次氏

6. 議 事

第1号議案 令和6年度事業報告

議長より左東副会長が指名され、本日配布の議案説明が行われた後、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第2号議案 令和6年度収支決算報告

議長より奥谷専務理事が指名され、まず令和6年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、および財産目録に関し説明があった。

さらに、中野監事から監査の結果、何れも適正且つ妥当であった旨の監査報告、ならびに本決算報告について茂利公認会計士のご指導を受けたとの報告があり、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第3号議案 役員改選

議長より本工学会の役員の改選については、毎年約半数の改選が行われ、新任ならびに再任役員の選任については、総会の承認を要する旨の説明があった。

すなわち、本通常総会の終結をもって理事加古聡一郎、勝木 太、佐藤靖彦、左東有次、山東徹生、平 喜彦、西山峰広、細谷 学、松原喜之、渡辺博志および監事大村一馬、中野元裕の任期が満了するため、次に示す表により理事および監事を選任したい旨を議場に諮った結果、満場一致で承認議決された。

新任・再任役員				継続役員			
理 事	住 吉 英 勝	(新任)		理 事	井 上 晋		
同	谷 昌 典	(新任)		同	太 田 義 弘		
同	勝 木 太	(再任)		同	大 山 博 明		
同	佐 藤 靖 彦	(再任)		同	奥 谷 祐 介		
同	左 東 有 次	(再任)		同	岸 本 一 藏		
同	山 東 徹 生	(再任)		同	忽 那 幸 浩		
同	平 喜 彦	(再任)		同	九 富 理		
同	細 谷 学	(再任)		同	齊 藤 成 彦		
同	松 原 喜 之	(再任)		同	佐 藤 忠 宏		
同	渡 辺 博 志	(再任)		同	下 村 匠		
監 事	大 村 一 馬	(再任)		同	中 村 光		
同	中 野 元 裕	(再任)		同	二井谷 教 治		
				同	福 井 剛		
				監 事	花 島 崇		

議長発言にて、続いて行う第1号報告の令和7年度事業計画および第2号報告の令和7年度収支予算については、3月14日に開催した第682回理事会において、審

議の上、承認されている旨、報告があった。

第1号報告 令和7年度事業計画

議長より中村副会長が指名され、令和7年度事業計画の説明があり、了承された。

第2号報告 令和7年度収支予算

議長より奥谷専務理事が指名され、令和7年度収支予算書に関し説明があり、了承された。

7. 名誉会員推挙

議長より、本会ならびにプレストレストコンクリート技術の普及と進歩発展のため、長年にわたり功績を残された方を名誉会員に推挙しているとの説明があった。本年度の候補者として鈴木基行氏、椿 龍哉氏、西尾浩志氏および西山峰広氏が披露され、総会に諮った結果、満場一致で名誉会員への推挙が承認された。

8. プレストレストコンクリート工学会賞授与

令和6年度プレストレストコンクリート工学会賞の授与について、工学会賞選考委員会阿波野委員長から、令和6年度工学会賞選考理由について説明がなされた。

○論文賞（賞状と記念品）

- | | |
|------------------------|--------|
| ● 塩害環境下に設置されたPC橋桁の | 中村文則 殿 |
| 外観・内部損傷調査と外部環境作用の実験 | 井林 康 殿 |
| (第32回プレストレストコンクリートの発展に | 小川晴希 殿 |
| 関するシンポジウム論文集) | 下村 匠 殿 |

○作品賞（賞状と記念盾）

(土木部門)

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| ● 北陸新幹線，大蔵余座高架橋 | |
| (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | 北陸新幹線建設局 殿 |
| | パシフィックコンサルタンツ(株) 殿 |
| 三井住友・極東興和・道端特定建設工事共同企業体 | 殿 |
| ● 双海橋 II期線 | 西日本高速道路(株) 四国支社 殿 |
| | (株)エイト日本技術開発 殿 |
| | 鹿島建設(株)・(株)富士ピー・エス特定建設工事共同企業体 殿 |

(建築部門)

- 川崎市役所本庁舎
川崎市 殿
(株)久米設計 殿
大成建設(株) 横浜支店 殿
ピーエス・コンストラクション(株) 殿

- ニコン 本社/イノベーションセンター
(株)ニコン 殿
(株)三菱地所設計 殿
(株)安藤・間 殿
(株)建研 殿

- 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル
茨木市 殿
(株)伊東豊雄建築設計事務所 殿
(株)佐々木睦朗構造計画研究所 殿
(株)竹中工務店 殿

- 鹿島市民文化ホール SAKURAS
鹿島市 殿
ナスカー級建築士事務所 殿
(同)OAK Plus 殿
松尾建設(株) 殿
中島建設(株) 殿
高木建設(株) 殿
ピーエス・コンストラクション(株) 殿

- 麻布台ヒルズ ガーデンプラザC
森ビル(株) [特定建築者] 殿
(株)日本設計 殿
清水建設(株) 殿
(株)建研 殿

○施工技術賞 (賞状と記念盾)

- 柱頭部の超急速施工法
中日本高速道路(株) 殿
三井住友建設(株)・極東興和(株)・ドーピー建設工業(株) J V 殿

- 東西経済回廊整備計画パッケージ1 ジャイン・コーカレー橋建設事業
安藤ハザマ・ピーエス・コンストラクション J V 殿

● 新東名高速道路 大御神西跨道橋 他3橋（P C上部工）工事

中日本高速道路(株) 東京支社 殿
(株)大林組 殿

9. 閉 会

奥谷専務理事が閉会を宣言し、第66回通常総会は滞りなく終了した。

令和7年5月23日

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

議長・会長 下 村 匠 ⑩

署 名 人 中 村 光 ⑩

署 名 人 左 東 有 次 ⑩